ISSN 0913-042X

財団法人 愛知県埋蔵文化財センター

年報

昭和
63年度

1989

序

本センターが海部郡弥富町にある愛知県埋蔵文化財調査センターに移転して早くも一年が経たち、資料の管理や、活用、化学分析や保存処理などの業務もようやく軌道にのりつつあります。また、昭和63年においても県内16ヶ所で発掘調査が実施され、多くの成果があがっております。

今年度もこれらの調査や普及活動の記録を「年報　昭和63年度」として公表することとなりました。本書が、考古学の研究はもとより、埋蔵文化財の保護と活用のうえでも、お役に立つことができればまことに幸いと存じます。

さらに、本書の刊行及び発掘調査にあたっては、専門委員の諸先生及び愛知県教育委員会の御指導並びに建設省、日本道路公団、愛知県土木部、総務部、地元市町村その他の関係者の方々に多大な御協力をいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

平成元年３月

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

理事長　中根　昭二

例　言

1．本書は、財団法人愛知県埋蔵文化財センターの昭和63年度事業の概要をまとめたものである。

2．調査は、建設省中部地方建設局、日本道路公団名古屋建設局、愛知県土木部及び愛知県総務部から、愛知県教育委員会文化財課を通じての委託を受けて、本センターが実施した。

3．調査の概要は、各遺跡ごとにまとめて掲載した。

4．普及活動の概要は、本センターの事業のうち、研修会、埋蔵文化財展などの埋蔵文化財の発掘調査以外の事業についてその概要を掲載した。

5．調査研究は、発掘調査及び整理作業を通じて研究成果の一部を集録した。

6．発掘調査にあたっては、専門委員の各氏及び愛知県教育委員会文化財課、愛知県埋蔵文化財調査センターの指導助言をいただいた。

7．本書の作成にあたっては、浅野弘一、伊藤千春、枝廣千代子、鎌倉崇志、亀井けい子、河合明美、佐藤治、佐藤規子、杉山美雪、武内剛、橋真美子、永草康次、長谷川恵子、山口昌直、各氏の協力を得たほか、関係各機関並びに、地元作業員の方々には過大の援助を賜わった。

8．文責は各文末に記した。

財団法人　愛知県埋蔵文化財センターの組織

役　員

理事長

中根　昭二

常務理事

鈴木　正明

監　事

福地　甲子八

理　事

小金　　潔	県教育長
井関弘太郎	名古屋大学名誉教授
伊藤　秋男	南山大学教授
大参　義一	信州大学教授
坪井　清足	財大阪文化財センター理事長
楢崎　彰一	名古屋大学教授
花木　篤雄	都市教育長協議会会長(一宮市教育長)
金島　　覚	町村教育長協議会会長(西枇杷島町教育長)
下田　修司	県土木部長
白井　正巳	県教育委員会社会教育部長
林　　正治	清洲貝殻山貝塚資料館館長(清洲町長)
山田　五夫	県陶磁資料館館長

監　事

小倉　政則	県出納事務局次長
鈴木　　毅	県教育委員会総務課長

専　門　委　員

考　古　学	楢崎　彰一	名古屋大学教授
地　理　学	井関弘太郎	名古屋大学名誉教授
文献　史学	早川　庄八	名古屋大学教授
建築　史学	浅野　　清	愛知工業大学教授
動・植物学	渡辺　　誠	名古屋大学助教授
形質人類学	池田　次郎	岡山理科大学教授
保存　科学	江本　義理	前東京国立文化財研究所保存科学部長
岩　石　学	諏訪　兼位	名古屋大学教授
木材組織学	木方　洋二	名古屋大学教授

職　員

事務局長(兼管理課長)　太田　正男

管理課

主　査　古田　伴弘

主　事　鈴木　孝治　田上　堅三
　　大野　智靖　小倉　晴美

調査課

課　長　明壁　正毅

課長補佐兼主査　森　　勇一

主　事　赤塚　次郎　石黒　立人
　　松原　隆治　服部　信博
　　後藤　浩一　真鍋　雅治

主　査　山仲　寅治

主　事　樋上　　昇　神谷　友和

嘱　託　菅沼　圭介(88年11月退職)

嘱　託　金子　健一

主　査　平田　睦美

嘱　託　野口　哲也

課長補佐兼主査　土屋　利男

主　事　池本　正明

嘱　託　菅沼　良則(88年11月退職)

主　事　北村　和宏　福岡　晃彦
　　酒井　俊彦　安井　俊則

主　査　水谷　朋和

主　事　川井　啓介　宮腰　健司
　　日比　　宰

嘱　託　飴谷　　一

主　事　鈴木　正貴

嘱　託　岡本　直久

主　査　梅本　博志

主　事　小澤　一弘　佐藤　公保

嘱　託　伊藤　隆彦

主　事　城ヶ谷　和広

嘱　託　松田　　訓　加藤　とよ江

目　　次

Ⅰ.遺跡調査の概要 …… 1
調査の理由と工程…… 2
遺跡の位置…… 4
朝日遺跡…… 6
清洲城下町遺跡……12
名古屋城三の丸遺跡……20
松河戸遺跡……34
勝川遺跡……40
岩倉城遺跡……44
池下古墳……48
加美遺跡……49
岡島遺跡……52
志貴野遺跡……54
杉山端城跡……56
諏訪遺跡……57
麻生田大橋遺跡……58
下山古墳……62
松崎貝塚遺跡……66
小島遺跡……67
試掘調査……68
Ⅱ.調査研究
朝日遺跡縄文時代貯蔵穴出土の植物遺体……渡辺　誠……70
古生物学的にみた朝日遺跡の古環境の変遷……森　勇一・伊藤隆彦……76
木製農耕具の地域色とその変遷―勝川遺跡出土資料を中心として―……
樋上　昇……92
三の丸遺跡出土の奈良・平安土器―尾張の集落址における様相―……
城ヶ谷和広…… 126
年輪年代法による清洲城下町遺跡・勝川遺跡出土木製品の年代測定について
光谷拓実…… 136
五条川流域における「下呂石」の分布について……飴谷　一…… 144
朝日遺跡出土の動物遺存体……宮腰健司・佐藤　治…… 150
清洲城下町遺跡出土の井戸桶に関する考察……鈴木正貴…… 158
Ⅲ.埋蔵文化財センターの活動
埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会…… 170
発掘調査技術等研修会…… 171
資料の貸出・提供…… 172
現地説明会…… 173
Ⅳ.付篇（受贈図書目録）…… 174

遺跡調査の概要

調査の理由と工程

1．発掘調査

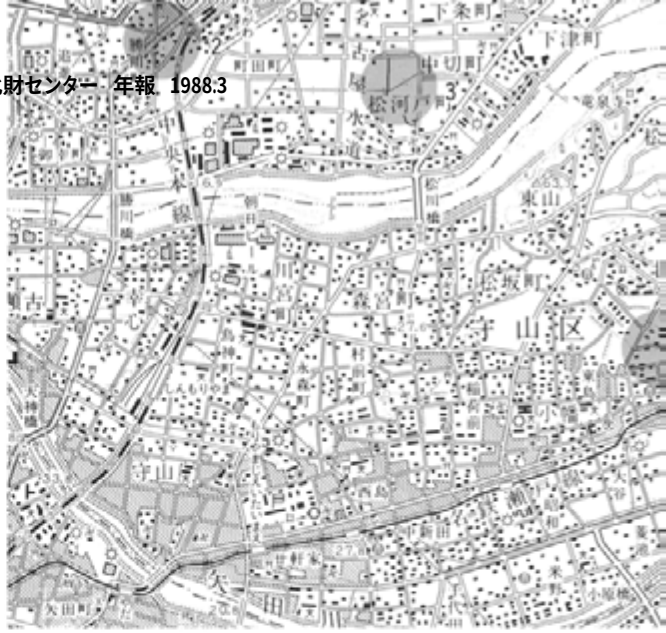
調査委託者	調査の理由	遺跡名	面積(㎡)		調査の期間	調査担当者
建設省 日本道路公団	名古屋環状2号線	朝日遺跡	A	417.5	88. 7～88. 9	石黒・宮腰・日比・飴谷
			B	770	88. 4～88. 6	石黒・川井
			D	491.5	89. 1～89. 3	石黒・川井
			G	962	88.12～89. 3	松田・日比・飴谷
			J	649	88. 4～88. 6	水谷・川井・岡本
			L	849	88. 4～88. 5	水谷・岡本
			M	761	88. 4～88. 6	水谷・日比・飴谷
		(5,632㎡)	N	732	88. 7～88. 8	石黒・宮腰・日比
		勝川遺跡		642	88.11～89. 2	平田・服部
		松河戸遺跡	A・B	2236	88. 4～88.10	山仲・野口
			C	3175.5	88. 4～88. 8	平田・真鍋・樋上
			I・J・K	3303.5	88. 8～88.11	平田・真鍋・樋上
			D・E	8749	88.12～89. 3	山仲・松原・後藤・金子
			G・H	7762	88. 4～88.11	山中・後藤・菅沼(圭)
		(27,651㎡)	L	2425	88.12～89. 3	山仲・岡本
	(35,600㎡)	池下古墳		1675	88.12～89. 3	赤塚・真鍋
建設省	国道23号バイパス	志貴野遺跡	A	1750	88. 4～88. 6	福岡・北村
		(4,000㎡)	B・C	2250	88. 7～88. 9	土屋・福岡
		小島遺跡		1000	89. 1～89. 3	安井・池本
	(5,800㎡)	試掘		800	88. 4	池本・菅沼(良)
建設省	合同庁舎建設	名古屋城三の丸遺跡	F	3100	88. 4～88. 8	梅本・小沢・城ヶ谷・佐藤
愛知県総務部	新図書館建設関連	名古屋城三の丸遺跡	A	1400	88. 8～88.12	松田・城ヶ谷・加藤・金子
			B	1700	88. 5～88. 7	松田・加藤・伊藤
			C・D	4100	88. 8～88.12	梅本・小沢・佐藤・伊藤
		(7,600㎡)	E	400	88. 4	松田・加藤
愛知県土木部	勝川土地区画	勝川遺跡		450	88. 5～88. 6 88.10～88.11 89. 2～89. 3	神谷・服部・野口
	県道萩原・多気線	岩倉城遺跡		1470	88. 4～88.10	松原・服部
	県道東三河環状線	麻生田大橋遺跡		1900	88. 8～89. 1	安井・福岡・北村

調査委託者	調査の理由	遺跡名	面積(㎡)		調査の期間	調査担当者
愛知県土木部	県道新川・清洲線	清洲城下町遺跡	E	410	88. 6~88. 8	水谷・川井・鈴木
			F	330	88.12~89. 2	水谷・鈴木
			G	240	88. 4~88. 6	水谷・鈴木
			H	150	88. 6~88. 7	水谷・川井・鈴木
			K	280	89. 2~89. 3	梅本・鈴木
			L	480	88.10~88.12	水谷・岡本
			M	590	88.10~88.11	水谷・岡本
		(2,860㎡)	N	380	88.10~88.11	水谷・飴谷
	県道蒲郡・碧南線	岡島遺跡	A・B	1200	88.10~89. 1	池本・菅沼(良)・樋上・野口
		(2,400㎡)	C・D	1200	89. 1~89. 3	池本・樋上・野口
	小川橋整備	加美遺跡	A・B・C	2500	88. 5~88. 9	池本・菅沼(良)
	国道247号線	松崎貝塚		2000	88.12~89. 3	土屋・福岡・北村
	国道151号線	諏訪遺跡	A^1・A^2	900	88. 4~88. 5	安井・酒井
	(1,900㎡)	杉山端城遺跡		1000	88. 5~88. 7	安井・酒井
	五条川改修	清洲城下町遺跡	A	260	88. 8~88. 9	日比・飴谷
			B	550	88. 7~88. 9	水谷・川井・岡本
			C	860	88. 8~88.12	水谷・日比・川井・鈴木
			D	580	89. 1~89. 3	梅本・佐藤・城ヶ谷・加藤
			R	660	88.11~89. 1	佐藤・日比・鈴木・飴谷
			S	790	88.12~89. 1	水谷・川井・岡本
		(3,800㎡)	Q	100	89. 2	佐藤・城ヶ谷
(19,780㎡)	東幡豆港港湾改修	下山古墳		500	88. 6~88. 9	土屋・北村

2．報告書

調査委託者	調査の理由	遺跡名	調査面積	調査年度
建設省 日本道路公団	名古屋環状2号線	阿弥陀寺遺跡	30,415㎡	昭和56～昭和60年度
		町田遺跡	9,882㎡	昭和62年度
		廻間遺跡	15,283㎡	昭和60～昭和61年度
愛知県土木部	小川橋整備	加美遺跡	2,500㎡	昭和63年度
	国道151号線	諏訪・杉山端城遺跡	1,900㎡	昭和63年度
	東幡豆港港湾改修	下山遺跡	500㎡	昭和63年度





1．岩倉城遺跡
2．勝川遺跡
3．松河戸遺跡
4．池下古墳
5．名古屋城三の丸遺跡
6．清洲城下町遺跡
7．朝日遺跡
8．下山古墳
9．杉山端城遺跡
10．諏訪遺跡
11．麻生田大橋遺跡
12．松崎貝塚
13．加美遺跡
14．志賀野遺跡
15．小島遺跡
16．岡島遺跡



(1/50000)






西幡豆
8
東幡豆港
中
中之浜
沖島


東海
市
12
中央町
荒尾町
天尾町
大田町
富木島町
横須賀町
加木屋町
新池


豊栄
新城
9
10
市
吉水
楠木
野田
石田
川田
豊島


桜井町
福原
山中
御林
小川町
岩根
天神
向
野寺町
新村町
西浅井町
藤井町
中畑町
小島町
13
14
15
16
尾花町
丹過
和気町
大和田町
高河原町
岡島町
小焼野町
家武町


11
牧野町
上高町
下谷町
柑子町